

施策	2202 衛生環境の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	余地有	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	都賀聖地公園の整備、既存墓園の適正な維持・管理、斎場の再整備の検討等を進める。						
成果指標	斎場・墓地に関する年間苦情件数...5年間で0件（現状値6件）						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [件]	予定	6.00	5.00	3.00	2.00	0.00
		実績	6.00	4.00	2.00		
	成果指標2 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標3 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標4 []	予定					
実績							
	単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定	512,397	505,103	450,148			
	実績	469,094	476,710	432,668			
内部評価	貢献度	上位施策の目標指標「斎場墓地に対する満足度」を50%に向上させるためには、年間苦情件数の減少が必要であり、本単位施策の目標達成による貢献度は高い。					
	達成状況	聖地公園等においては、適正な管理をすることにより目標を達成することが出来た。新斎場については、南部清掃工場跡地を選定し、地元説明会を実施したあと、正式決定した。					
	課題	住民説明等、丁寧な事務を進めたこともあり、基本構想で示した目標スケジュールから遅れている状況である。					
	取組方針	南部清掃工場跡地への新斎場建設に必要な許認可手続き等を加味した新たなスケジュールを示すとともに、測量、地質調査等の事業に着手する。					
外部評価	<p>苦情件数が成果指標であるが、苦情の内容を精査し、不適切な管理や未整備などに起因するものをカウントすべきである。</p> <p>次世代に墓地の管理をさせたくない高齢者が増えている。大都市圏で集合墓地の利用がかなわなかった方たちの受け皿として、栃木市で集合墓地を整備すればこうした方たちの移住が期待できる。墓地に関するニーズを調査し、整備を検討すべきである。</p> <p>新斎場については、最終建設候補地を旧南部清掃工場跡地とし、住民説明会を7回開催しているが、当初のスケジュールから遅れているため、新たなスケジュールを設定し、整備をスムーズに進めるべきと考える。</p>						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名称				トータルコスト(千円)	達成度
	152104	聖地公園永代使用料還付金（都賀）				375	100
	152201	聖地公園管理費				22,954	100
	152204	聖地公園管理費（都賀）				2,765	100
	153003	墓地管理費（藤岡）				957	100
	153005	墓地管理費（西方）				1,543	100
	155701	し尿収集事業費				787	100
	156601	衛生センター管理運営委託事業費				212,433	98
	155801	公衆便所管理費				5,055	90
	152601	斎場再整備事業費				22,790	13
152101	聖地公園永代使用料還付金				750	1	

平成27年度

単位 施策評価表 補表

施策	2202 衛生環境の充実		
区分	妥当性	妥当	衛生環境の充実についての評価は妥当である。
	コスト削減の余地	無	市民の生活に直結している事業でありコスト削減の余地はない
	受益者負担	余地有	受益者負担については今後検討の余地がある
	上位貢献度	有効	基本施策の成果指標達成には貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	類似事業はない。
	成果向上の余地	有	今後適切に事業を行うことで、聖地公園や墓園の適正な維持管理が見込まれる。
内部評価	貢献度		
	達成状況		
	課題		
	取組方針		

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	040104	予算事業コード	152601	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	斎場再整備事業費										主	2202	生活環境の充実		衛生環境の充実		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 斎場整備室 斎場整備係					担当者	津布楽真克					従					
事業の性質	2	自治事務		根拠法令等								事業期間	H24 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	5,948,404	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市町合併や超高齢社会の進行に伴い、増加が見込まれる将来の火葬需要や現斎場の老朽化に対応するため、斎場の再整備を行う。 学識経験者や地域代表者等による「栃木市斎場再整備検討委員会」を組織し、事業内容等について検討を行い、円滑な事業推進を図る。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 人生の終焉に相応しく、利用者心情や利便性・機能性に配慮した新斎場を建設する。					
	成果目標	斎場・墓地に関する年間苦情件数...5年間で0件(現状値6件)															

単位：千円、人		平成26年度決算額	平成27年度決算見込	平成26年度		平成27年度						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	【事業の内容】		【事業の内容】						
	県支出金	0	0	・栃木市斎場再整備基本構想に基づき、新斎場の具体的な内容を定める「栃木市斎場再整備基本計画」を策定する。また、新斎場建設候補地の選定を行う。		・最終候補地に係る市の意思決定を行う。 ・建設予定周辺の住民説明会を行う。						
	地方債	0	0	【成果】		【成果】						
	その他特財	0	0	・パブリックコメントによる意見を反映させ「栃木市斎場再整備基本計画」を策定した。		・栃木市新斎場候補地選定会議の協議結果を踏まえ、本市所有地である「旧南部清掃工場跡地」を選定した。延べ7回の地元説明会を実施した後、新斎場建設予定地と決定した。						
	一般財源	302	290	・新斎場建設地の決定に向け、候補地を抽出し斎場再整備検討委員会及び新斎場候補地選定会議を開催し、評価・検討を行った。								
	事業費 a	302	290									
	人件費 b	22,500	22,500									
減価償却費 c	0	0										
総事業費 a+b+c	22,802	22,790	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	4.00	1.00	検討委員会開催回数	会議開催数 H27目標値 8回	回	妥当	無	適正	有効	無	有	
結果指標 2	0.10	0.11	斎場整備に関する事業進捗率	全体事業費に占める執行費率 H27目標値0.82	%							

事業改善計画 (改善内容とその効果を具体的に記入)
 新斎場建設予定地決定後は、斎場建設に伴う各種業務委託、関係法令の調整及び許認可等、様々な業務を行う事になる。関係各課との連携を密にし、計画的かつスムーズに事務を進める。

事後評価備考